

## 2022年度 ひまわり園 放課後等デイサービス事業自己評価結果表

(2022年12月1日現在)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現在の取組内容・今後の改善目標等
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			過ごす部屋の選択肢を増やしました。必要時には個別で過ごせるスペースもあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令で定められた基準を満たしており、有資格者が配置されています。
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物入り口には段差があり、必要に応じて移動式のスロープを出しています。バリアフリー化されたトイレがあり、車いす等も安全に入ることができます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	○			職員間のミーティング、定期的な会議等で課題を検討等により、随時意見交換を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査の実施により、サービスの質向上に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度のアンケート結果をホームページで公表しています。2022年度分は、今後、公表いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		内部評価や第三者委員等の意見をお聞きしながら業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修を始め、外部研修、園内研修を定期的実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			関係諸機関、相談支援専門員等からの情報、家族の面談から基本情報とアセスメントシート、発達障害特性シートの作成を経て、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを複数活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にも必要に応じて、ミーティングを行い立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の意見も聞きながらプログラムを工夫していきます。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			活動準備において支援の対象（集団・個別）を踏まえるようにしています。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日のミーティングで前回の振り返りを実施し、当日の支援分担を決めています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行い情報共有しています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援記録を記入し、支援の検証や改善に活用しています。
	17	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的モニタリングを行っています。また必要に応じて見直しを行っています。
	18	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			個別に担当者をもっています。
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校とは送迎時に情報交換、共有を行っています。緊急時などには連絡の取れる体制を整えています。
20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療的ケアが必要なお子さんは通われていませんが、今後希望に応じて受け入れ態勢の整備をしていきます。	
21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援専門員等からの情報や、移行支援会議等により、相互理解を図っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現在の取組内容・今後の改善目標等
関係機関や保護者との連携	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			個別の支援方法など仕組み化されていることについて引き継ぐことは大切なので、情報は提供をしています。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		外部機関が主催する研修等に参加するよう努めています。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		情勢（コロナ感染症等）を見ながら検討していきます。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎や出迎え時や連絡帳等により、その日の様子等について情報共有や共通理解を努めています。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			主任相談支援専門員による、ペアレントトレーニング研修の機会を設けています。
保護者への説明責任等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際にご説明しています。制度については、複雑な部分があるため、毎年説明会を行っています。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談があれば改めて時間を設けるなどその都度対応しています。
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者交流会の日を設けています。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者、苦情解決責任者等の体制を整備し、適切に対応できるように努めています。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月一回通信や広報（一葉ニュース）を発行しています。
	32	個人情報に十分注意しているか	○			利用契約の際に個人情報の取扱いについて書面で説明しています。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			グループ向けの提示方法を用意しています。必要に応じて個別の情報伝達方法を用意しています。
34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域資源として園庭の提供を行っています。特性のあるお子さんの支援方法について、地域の学校・保育所へ情報を提供しています。	
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し、都度確認しています。感染症に対する個別支援計画を作成しています。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練を実施しています。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			当該研修等に参加し職員への周知を行っています。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束は行っていません。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		調査票で食物アレルギーの有無について確認しています。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの記録を残し、職員会議で情報を共有し、対策を検討します。